

リベルタ新聞

紅勝て、青勝て

去る五月十九日、ニコリベルタで、大運動会が行なわれました。利用者様の選手宣誓を皮切りに、日頃のリハビリテーションの成果を遺憾なく発揮されておりました。

玉入れ、応援合戦、うちわりレー、職員競技のメデシングボール・・・利用者様の中にはチーム色のドレスを纏った方や盛り上げる為に扮装された方、勝負事になると真剣さが増す方、いつもより身体が動いておりました。

「紅勝て!」「青勝て!」
デイフロアに響く声・・・
まだまだ若い物には負けんとたくまじさが感じられました。



2017年
7月1日(土)
リベルタ新聞社
富士市厚原372番地1
ホームページ
<http://www.fujic3.com>
TEL:0545-72-3833

定期連載 俊さんのコラム

「七タの日宇宙へ」

今日は父の立ち日で、妻が近所のコンビニから買って来た、団子を仏壇に、備えた。又、今日は七タの日でもあり、何故か宇宙が身近に、感じられ父の、旅立ちの日も猛烈な熱い日で、六十七年前と、同じ暑さで、病弱な私には、身に染みます。

私は何回も、天国の夢を見てきましたので?、日本人の宇宙飛行士の打ち上げ、で天国で私の父母の近くへ、行くのだと思うと、きっと成功なさると思う。

私は、富士登山は、今までに三回したことが、あります。大学生の時富士山山頂で、ベンチで寝て青空を眺めていると、天空に吸い込まれる思いで、あわててベンチをつかんだ記憶があります。宇宙は、まだまだ未知の世界です、自分の寝て居る、四方がすべて青空で、自分の目の焦点が、青空だとすると、じっと青空を見つめていると、青空にすいこまれて、行く錯覚に落ちるのだと思います。多くの人間が宗教に憧れ、又、迷わされることは、当然と思う、人間は化学で解明出来ない、未知の世界が、この宇宙に在るのかも知れない宗教が化学で解明されることはない、と思うし、未知をおいつづける、のが人類で、宗教が科学的に解明されることがあれば、その時は、人類は、滅亡の時と思う。